

第2回学校評議員会 議事録

■開催日：平成22年10月30日（土）

■場所：一関工業高等学校 校長室

■時間：13:00～14:40

■出席者

評議員

熊谷 宗子様、井上 博幸様、菅原 良男様、千葉 東様、千葉 裕様

学校

安彦 敏郎（校長）、浅沼 孝夫（副校長）、藤野 武英（事務長）、須藤 靖浩（総務課）

■協議・意見交換

○関工祭の感想・他

熊谷 宗子様

- ・初めて関工祭を見たがものづくりの取り組みがすばらしいと感じた。
- ・生徒が『楽しい』と言っていた事が嬉しい。又、外でのイベントも楽しんでいた様子が良いと感じた
- ・就職率が伸びていくことを期待します。

井上 博幸様

- ・普通科の高校とは違い専門性を感じられてとても良かった。
- ・説明してくれた生徒もしっかり理解したうえで説明してくれた事が好印象であった。
- ・周囲での工業高校の評判は良い、それが出席率に繋がっていると感じた。
- ・生徒の選択肢を増やす・暇にさせないという点ではサッカー同好会設立は良い事だと考える。

菅原 良男様

- ・挨拶、誘導がしっかり出来ていた事が気持ちよかったし展示ブースでの説明も良く好印象であった。
- ・気になった点は食堂での生徒の会話。学校内でどこまで気を使わせるか、どこまで自由にさせるかは微妙ではあるが言葉遣いや内容に関しては外部の人間がいる前での会話としては企業であればあり

えない内容。

但し、学校生徒にそこまで規制するとおもしろみや活発性も失われる可能性もあるのだが、時と場合による事も指導した方が良いのではないか。

- ・インターンシップではまとまりの良いグループでとてもやり易かった。
- ・関工祭は孫と一緒に来れば良かった。特に工業高校は職業教育の一部が見れるので子供に見せたいと思った。
- 特に今の子供は働く事（仕事）に対して希薄なので関工祭は毎年あると良い。

千葉 東様

- ・PTAとしては父母や家族の方々が学校に来校する機会を増やす為にも関工祭は毎年開催をお願いしたい。
- ・音楽を取り入れるとの事で音楽が聞こえる学校は思春期の生徒にはとてもよい事と考える。是非推進してほしい。
- ・チラシ配布の予定との事だが宮城県北の中学校にも配布しては如何か。
- ・就職に関して、3割はUターンしてくる実態から地元就職を根付かせる為にも周辺企業との交流を増やしてはどうか。

千葉 裕様

- ・関工祭を見て感動の連続、すばらしい。
- ・いろんな方々に評価してもらえる様な状況であり、その様な歯車方式が動き始めたと感じている。職員の方々も自信をもって教育して下さい。

校長先生

- ・今年は普通高校の要素を取り入れて楽しく行うことに重点をおいた。
将来的には合唱コンクールが出来る工業高校になったら良いと考えています。
- ・校内での会話については機会をみて生徒に話したい

○卒業式について

- ・卒業式でピアノ伴奏での校歌が聞きたい。ピアノは1台といわず音楽室と体育館に設置を前提で2台の方向で検討してほしい。

○その他

千葉 東様

- ・チラシに関して宮城県北の中学校へも配布を希望する。
(岩手・宮城の中心工業高校の位置付けを狙う意味で)
- ・就職者の約 3 割はUターンしてくる実態から地元就職指向を高める上でも地域企業との交流を増やす事も必要では。
- ・地域住民との信頼関係を築いていく事も考える必要あり。関工祭など近隣の方々にも来て貰えるよう配慮すべき。(招待・チラシ配布等)
地域住民の好意で工業高校の為に外灯設置や電柱を民地へ移動するなどしてくれておりやさしい目で見られています。

千葉 裕様

- ・学校運営を考えたとき、定員確保についてどうすれば良いか考えていたが、チラシを配布する事やその他さまざまな事を計画している事を聞き学校側も同じ思いで活動している事が嬉しい。そのような取組みが生徒の為に繋がっていくはずなので今後も継続して行ってほしい。

校長先生

- ・前向きなご意見ありがとうございました。
実施に向けて取り組んで参ります。